

平成26年4月1日
住友生命保険相互会社

平成26年度入社式 社長あいさつ（抜粋）

住友生命保険相互会社（代表取締役社長 橋本 雅博）は405名（総合職員103名、一般職員43名、総合営業職員259名）の新入職員を迎え、4月1日に入社式を行いました。以下に社長あいさつの要旨を紹介します。

■皆さんに期待する3つのこと

今日は私にとっても、社長としての初日であり皆さんと同じく新しい一歩を踏み出す日。お互いに「向上心」、仕事に対する「真摯さ」、人に対する「感謝の気持ち」を持ち続けていきたい。そのために皆さんに期待することを3つお伝えしたい。

○ 失敗“に”するな

失敗を恐れる必要はないが、失敗“に”慣れてはいけない。全ての仕事はお客さまにつながる以上、新入職員でも失敗しないという気構えが大事。それでも挑戦すれば失敗することはある。失敗したところで諦めたら、そのまま失敗として終わるが、その失敗を何としてもリカバリーするんだと一生懸命に頑張れば、失敗を成功に変えられる。

○ セミプロになるな

セミプロになり、そこにあぐらをかいて努力しないような人にならないでほしい。また、仕事に慣れても「顧客視点」、つまり、お客さまや仕事の相手といった「受け手」の立場を忘れてはならない。本物のプロは、常に顧客視点で発想し、行動する。

○ 鳥となり、森となり、槍となれ

仕事に対して、鳥が大空から世界を見渡すように物事を「大局的」に見て、長い年月をかけてその姿を創り上げた森の木々のように「長期的」な視点で考え、壁を突き通す槍のように大胆に力強い行動力を見せてほしい。

変わりゆく時代の中で、一人ひとりが自らを進化させて、全員の力で住友生命を「お客さまから見て『薦めたい』会社、職員から見て『いきいきと働ける』会社、社会から見て『なくてはならない』会社」に進化させていきたいと強く願っている。

以上